

平成27年度 第2回湖東圏域公共交通活性化協議会総会

開催日 平成27年12月22日（火）10時～12時

開催場所 彦根勤労福祉会館 4階 大ホール

出席者 別紙参照

1 開会

2 議事

(1) 「第1号議案 湖東圏域地域公共交通網形成計画の素案」について（資料1）

- ・ 第1号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。その後、会長より承認を求めた結果、異議無く承認され、継続的に計画づくりを検討していく。

● 樋口委員（滋賀県バス協会）

- ・ P.48の地域公共交通の役割について、通院、買い物、レジャーといったキーワードも必要である。これらのキーワードは、P.54の地域が目指すべき将来像にも盛り込んで欲しい。また、P.57～58の各公共交通機関における機能強化の基本方針について、ICカードやバスロケの導入も考えられる。情報提供としてまだ不十分で、滋賀県栗東市のデジタルサイネージ（パネル）みたいなものも考えられる。P.80の役割の中に、公設民営化やIT化の推進もお願いしたい。

● 事務局

- ・ キーワードについては、追加検討を行う。ICカードやバスロケの導入は事業内容に追記したい。IT化は事業者をお願いしたい。バス車両の更新は、従来より協議会が購入し、運営をバス事業者が行っているため、継続して行う。

● 下山委員（彦根市都市建設部長）

- ・ 公共交通に対する評価で「分からない」と回答する人の割合が高い。つまり、利用していない人が多いということ。現在、高齢者の免許返納を進めている。「分からない」への対応はどこでする予定か。

● 事務局

- ・ 「分からない」と回答する割合が高いのは、非常に問題である。現在は、路線図等を全戸配布しており、これを継続していく。モビリティマネジメントの中で工夫していきたい。今年度は松田団地を対象として、チラシを配布した。

● 下山委員（彦根市都市建設部長）

- ・ 便数等のサービスの向上を行ってきたが、関心を持ってもらえるような取り組みを行うべきである。

(2) 「第2号議案 道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる協議が調っていることの証明書に係わる協議」について(資料2-1~2-3)

- ・ 第2号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、異議無く承認された。

(3) 「第3号議案 地域公共交通確保維持改善事業に係る自己評価」について(資料3-1~3-3)

- ・ 第3号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。その後、会長より承認を求めた結果、異議無く承認された。

● 轟委員(滋賀県立大学准教授)

- ・ 網形成計画の遅れにも関連して、資料3-2や資料3-3に各市町で連携とあるが、滋賀県の都市計画マスタープラン改定や各市町でも検討していると思う。そのため、網形成計画の素案P.54のコンパクト&ネットワーク図は区域マスと連動する必要がある。立地適正化等にも影響されるが、市民へどのようにオーソライズされるのか。

● 事務局

- ・ 市の場合、都市計画マスタープラン、都市交通マスタープランの策定作業は現在検討中であり、担当者間で情報共有を行い進めている。現在、網形成計画の素案に記載のある都市計画マスタープランは、平成19年度に作成されたもので事業年度が平成27年度までのものである。平成19年度策定の都市マスと現在検討している都市マスの区域はほぼ同じであり、今回示したコンパクト&ネットワーク図も同じ描き方になっているため、平成19年度の都市マスをベースにしても問題ないと考えている。他町も具体化されれば随時反映していく。そのため、その影響でスケジュールが変動するかもしれないが、現在のところ連携は取れていると考えている。

● 上野委員(甲良町老人クラブ連合会会長)

- ・ 愛のりタクシーの目標まで遠いという話だが、どのような目標なのか。

● 事務局

- ・ 乗合率1.5人代で、数値で見ると小さいが、乗合率の向上が難しい。利用者や便数は増えているが、なかなか乗合率が向上しない。インセンティブや割引制度などの対策が必要である。また、各地域で乗り合ってもらおうよう働きかける。

● 上野委員(甲良町老人クラブ連合会会長)

- ・ 通院は乗合ができない。定着している人と知らない人の差がある。乗合率を高めていくとすれば、よりきめ細かい対策が必要ではないか。自治会や集落の実態にあった政策を行う必要がある。

● 事務局

- ・ 愛のりタクシーの使われ方は、昨年アンケートの実施や事業費の関係で全ての利用を把握させて頂いている。今後も利用者の声を拾いながら検討していきたい。また、アドバイスをお願いしたい。
- 轟委員（滋賀県立大学准教授）
 - ・ 利用者は一度使うと使い慣れる。むしろ、利用していない人の病院や買い物等の手段を把握できると良い。また、利用していない人をターゲットにしていく方が良い。
- 事務局
 - ・ 昨年のアンケートは、利用者を対象としたものであるため、利用していない人を対象としたアンケートも実施したい。ただ、費用がかかるため、いつ実施できるかは明確な回答をできないが、利用していない人を対象としてアンケートを実施する方向で考えたい。
- 野本委員（聖泉大学教授）
 - ・ 相乗りの場合、全国的に女性の利用が多い。日夏からのバス利用の場合は、市立病院へ行くときに南彦根駅で乗換えが必要で不便と言われたことがある。集落等の総会で愛のりタクシーをお勧めする、免許返納の際に個別に勧める、民生委員から勧めて頂く等を行って欲しい。きめ細かい対策を行い、0.1や0.2と、地道に乗合率を上げて行って欲しい。
- 上野委員（甲良町老人クラブ連合会会長）
 - ・ 乗合率 1.5 まで挙げることは素晴らしいが、大変難しいことのように感じる。現在、愛のりタクシーを利用している方は、一人暮らしの方で移動が困難な方、ご主人を介護して病院に行く際に自分が運転できないために利用する方が多い。甲良町では自治会長を通して、それぞれの老人クラブで愛のりの説明をし、その状況を報告するなど、周知して頂ける人が増えてはきている。乗合率の向上ではなく、電話予約を手助けするなどを行うことで、利用者の増加に繋がる。民生委員や自治会長との連携など、具体的にきめ細かい対策を行い、利用者増加を目指してはどうか。
- 事務局
 - ・ 自治会から要望があれば、説明会を実施したい。また、既に行っている愛のりタクシーの周知・PRは継続的に行っていきたい。

(4) その他

- 山岡委員（滋賀運輸支局）
 - ・ 地域の声を拾って反映させて頂きたい。上位計画との整合や実効性のある計画として頂きたい。

3 閉会

以上